

《資料Ⅰ》

教科種目名【図画工作（図画工作）】

発行者の略称	開隆堂	書名	図画工作
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>□教育基本法第2条に示されている「伝統と文化を尊重する」ことに関連して、「小さな美術館」や「みんなのギャラリー」等の中で作家の作品や伝統的な日本の技、身近な造形が紹介されている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、自分の気持ちや思いを作品にこめて相手に伝える絵手紙やカード作りが取り上げられている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を養うことに関連して、各題材での育てたい力が「学習の目標」として示され、児童が活動の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動が取り入れられている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「言語活動の充実」に関連して、5・6年下「見つけたことを話してみよう」では、互いの感じ方やおもしろさを楽しんだり味わったりする鑑賞の活動が取り上げられている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>□「思いやる力」に関連して、友達とかかわりながら協力して造形活動を楽しんだり、お互いのよさを認め合ったりする場面が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、造形活動や作品を通して地域とつながりがもてるように構成されている。</p>		
内 容	<p>□発展的内容の取り扱いについては、「みんなのギャラリー」の中で環境問題や情報処理等の今日的な課題が児童の身近な題材から取り上げられている。</p> <p>□実生活に生かせる題材として、児童作品の飾り方や展示の工夫が紹介され、「ひらめきコーナー」では、紙工作を生活の場面で生かすことができるように設定されている。</p> <p>□幼児教育と小学校教育とのつながりについて、1・2年上「いろいろならべて」や「しぜんとなかよし」等、体全体を使った造形活動や、身近な自然や友だちとのかかわり合いを大切にする活動が設定されている。</p> <p>□中学校教育との学習のつながりについて、中学校美術で学ぶ色相環や遠近法、構図の取り方につながる考え方や知識が取り上げられている。</p> <p>□自然のよさを感じ取れるような題材、屋外で自然や人工物等の材料とかかわる表現活動等が設定され、体験活動の充実を考慮するとともに、学校事情に配慮し、室内での代替題材を選択できるように例示されている。</p> <p>□神奈川県に関連することとして、横浜美術館での「子どものアトリエ」や鎌倉彫、小田原の「組み木細工のぞう」等が紹介されている。</p>		
構 成 分 量 装 丁	<p>□2学年上下別冊。A判でサイズは横210mm×縦296mm、厚さが約3mmである。一題材に用いられるページ数については、低学年は一題材1ページと一題材2ページの割合が、ほぼ同程度である。高学年は主に一題材2ページの構成である。</p> <p>□全学年巻頭に折り込みページが1枚ずつあり、5・6年にはさらに1枚ずつある。</p> <p>□「この教科書は環境に配慮した用紙やインキを使用しています。」と表示されている。</p>		
表記・表現	<p>□巻末の「パレットコーナー」「道具箱」を用いて、基礎的・基本的な知識や技能、安全面が系統的に取り上げられている。</p> <p>□図画工作で育つ力を3つに分けて、目次と各題材のページの左上に、絵記号（マーク）として表示されている。</p>		

《資料Ⅰ》

教科種目名【図画工作（図画工作）】

発行者の略称	日 文	書 名	図画工作
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>□教育基本法第2条に示されている「伝統と文化を尊重する」ことに関連して、「教科書美術館」や「図画工作の広がり」では作家の作品や日本の伝統工芸作品が紹介され、「ぞうけいのもり」では、身近な造形等が取り上げられている。</p> <p>□教育基本法第6条第2項に示されている「自ら進んで学習に取り組む意欲を高めること」に関連して、友だちと協力して活動している場面が掲載され、学校生活や読書活動・発表会等につながる活動が紹介されている。</p> <p>□学校教育法第30条に示されている「基礎的な知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」を養うことに関連して、各題材には「学習のめあて」が明示され、学習活動を通して子どもたちを感じてほしいことが子ども自身のつぶやきの形で表示されている。</p> <p>□学習指導要領の教育内容の主な改善事項「言語活動の充実」に関連して、5・6年上「カードを使って」では、感じたことや思ったことを伝え合い、見方や感じ方を深める鑑賞の活動が紹介されている。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>□「思いやる力」に関連して、お互いの作品を鑑賞する中で、それぞれのちがいやよさを話し合い、認め合う活動の場面が取り上げられている。</p> <p>□「社会とかかわる力」に関連して、身近な地域とつながる活動や校内の異学年交流を通して人とのふれあいを深める活動が取り上げられている。</p>		
内 容	<p>□発展的内容の取り扱いについては、「図画工作の広がり」の中で造形活動を通して、地域や社会とつながる活動等が紹介されている。</p> <p>□実生活に生かせる題材として、ICT活用のためのルールやマナーが取り上げられ、5・6年上「こまこまアニメーション」でICT機器を活用した活動が紹介されている。</p> <p>□幼児教育と小学校教育とのつながりについて、1・2年上「どんどんかくのはたのしいな」や「はこでつくったよ」では、幼稚園や保育所などでの表現に関する領域を参考にした活動が設定されている。</p> <p>□中学校教育との学習のつながりについて、5・6年下「中学校へ向かって」の中で生徒作品が紹介され、中学校の美術科や技術科との関連が取り上げられている。</p> <p>□体を動かして身近な環境や自然の素材と向き合い、物や場所の見え方を変える活動を設定し、体験活動の充実に資するとともに、学校や地域の実態に合わせて活動できるよう、同一題材内で屋外・屋内の活動が紹介されている。</p> <p>□神奈川県に関連することとして、県立近代美術館所蔵の「立てる人」（松本峻介作）や、被災地支援どんぐりプロジェクトの取組が紹介されている。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p>□2学年上下別冊。サイズは横210mm×縦277mm、厚さが約3mmである。主に一題材2ページの構成であり、巻末に材料と用具の使い方等が設定されている。</p> <p>□折り込みページが各学年巻頭に1枚ずつ設定されている。</p> <p>□「この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮しています。また植物油インキと再生紙を使用しています。」と表示されている。</p>		
表記・表現	<p>□表現活動には「片付け方」が明記され、授業で使う主な用具や材料が表現活動のページの左下にマークで、また右下に「ふりかえり」で表示されている。</p> <p>□題材の発想、材料・用具の使い方といった内容を、キャラクターのイラストによる吹き出しで表現されている。</p>		

《資料Ⅱ》

教科種目名【図画工作（図画工作）】

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

○教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	
開隆堂	知識や技能を幅広く身につけると同時に、地域や学校の実態に合わせて選択可能な内容が示され、体全体で材料とかかわる活動など身体的な造形活動が行えるような内容が取り上げられている。
日文	子どもの活動している姿が掲載され、学校や地域の実態に合わせて、体全体を使った造形遊びをすることができるよう、同一題材内で屋外での活動と屋内での活動が紹介されている。
二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	
開隆堂	「ゆめをかたちに」において、造形への意欲をもたせるために、人物や作品の紹介がされている。また、活動内容の方法や材料の例などが題材ごとに表示されている。
日文	各題材では、製作方法や用具の取り扱い、片づけ方法について表示され、「ぞうけいのもり」の中で、表現過程・表現技能のヒントとなる身近な造形作品などが取り上げられている。
三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	
開隆堂	造形遊びや共同作品で友だちと協力する活動や、個人作品を鑑賞する活動等の関わりの場が設けられ、地域での造形活動が紹介されている。
日文	友だちと協力して楽しむ造形活動の他、個人の活動でも友だちとの対話や交流等関わりの場が設けられ、図画工作を身近な地域・社会、異学年交流とつなげる活動や作品、読み物が取り上げられている。
四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	
開隆堂	自然素材を扱うことや自然が豊かな場所で表現活動を行うことを通して、自然のよさを感じ取れるような題材が設定されている。
日文	自然のよさを体感できる活動を重視するとともに、生き物や草花の形や色を通して、自然への関心をもつことのできるページが設定されている。
五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	
開隆堂	内外の作家の作品や外国の児童画が掲載され、「みんなのギャラリー」の中では、祭の造形や日本の伝統の技、伝統的な玩具が紹介されている。
日文	発達の段階に応じて外国の児童画が掲載され、「図画工作のひろがり」の中では、作家の作品やいろいろな地方の伝統の技、伝統的な玩具が紹介されている。
第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が行わなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行わなければならない。	
開隆堂	自分の気持ちや思いを作品にこめて相手に伝える絵手紙やカード作りの活動や、友だちとかかわり協力し合う活動が取り上げられている。
日文	友だちと協力して活動している場面が掲載され、学校生活や毎日の暮らし、読書活動・発表会等につながる活動が紹介されている。

○学校教育法第30条の内容

第30条 ② 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。	
開隆堂	各題材での育てたい力が「学習の目標」として示され、児童が活動の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動「ふりかえってはなしあおう」が取り入れられている。
日文	各題材には「学習のめあて」が明示され、十分にためし、かかわり、つくりだす学習活動を通して、子どもたちに感じてほしいことを、子ども自身のつぶやきの形で表示されている。

○学習指導要領の教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。	
開隆堂	造形活動への意欲や表現活動が高められるよう「小さな美術館」「みんなのギャラリー」の中で作家の作品や外国の児童の絵、伝統的な日本の技や身近な造形が紹介されている。
日文	表現や鑑賞の活動に生かせるよう「教科書美術館」や「図画工作の広がり」では作家の作品や日本の伝統文化作品が紹介され、「ぞうけいのもり」では、身近な造形作品等が取り上げられている。

○学習指導要領の教育内容の主な改善事項に関連する内容

言語活動の充実	
開隆堂	活動中の児童の対話やつぶやきを吹き出しで示され、作品には児童の思いや願いが掲載され、互いの感じ方やおもしろさを楽しんだり味わったりする鑑賞の活動が取り上げられている。
日文	「学習のめあて」に伝え合うことが示され、作品に込めた児童のつぶやきや思いを紹介するコメントが掲載され、感じたことや思ったことを伝え合い、見方や感じ方を深める鑑賞の活動が紹介されている。
伝統や文化に関する教育の充実	
開隆堂	諸外国の児童の作品が取り上げられ、低学年では日本の行事の飾りづくりにつながる活動、高学年では日本画の鑑賞や墨を用いた表現活動などが紹介されている。
日文	世界遺産や日本の伝統的な文化遺産、国宝、郷土の民芸品等を取り上げ、伝統的な技法を使った題材で実際に活動することでそのよさを深く理解できるよう例示されている。
道徳教育の充実	
開隆堂	後片づけの指導や用具の安全な使い方の配慮を図で例示している。造形活動では、協力して活動している場面が掲載されている。
日文	具体的な後片づけの方法や安全指導について、囲み文字や注意マークを使って環境に配慮した方法を表示している。造形活動の場面では、互いに認め合う活動が掲載されている。
体験活動の充実	
開隆堂	自然のよさを体全体で感じ取れるような題材、屋外で自然や人工物等の材料とかかわる表現活動等が設定されている。また、学校事情に配慮し、室内での代替題材を選択できるように例示されている。
日文	体を動かして身近な環境や自然の素材と向き合い、物や場所の見え方を変える活動が設定されている。学校や地域の実態に合わせて活動できるよう、同一題材内で屋外・屋内の活動が紹介されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

<p>[思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。</p> <p>(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育など)</p>	
開隆堂	多様なものの見方や考え方、表現の方法等が思考できる造形活動が紹介され、友だちとかかわりながら、協力して造形活動を楽しんだり、お互いのよさを認め合ったりする場面が取り上げられている。
日文	協力して行う造形活動やお互いの作品の鑑賞する中で、それぞれのちがいやよさを話し合い、認め合う活動の場面が掲載されている。
<p>[たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。</p> <p>(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など)</p>	
開隆堂	児童作品の飾り方や展示の工夫が紹介され、話し合いによって作品を飾ったり、相談しながら製作したりする活動や、安全への配慮が表記されている。
日文	屋内外の広い場所で相談し、協力しながら共同作品を作る活動が紹介され、片づけ方や安全への配慮が表記されている。
<p>[社会とかかわる力] 社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。</p> <p>(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など)</p>	
開隆堂	「みんなのギャラリー」の「教室をとびだして」や「伝統の技を学ぶ」では、造形活動や作品を通して地域とつながりがもてるように構成されている。
日文	「図画工作の広がり」の中で、身近な地域、社会とつながる活動や校内の異学年交流を通して人とのふれあいを深める活動が取り上げられている。

3 内容

	調査研究項目	開隆堂			日文		
		1・2年 上下	3・4年 上下	5・6年 上下	1・2年 上下	3・4年 上下	5・6年 上下
1	材料を基に造形遊びをする活動を取り上げている題材数	8	5	4	8	8	4
		17			20		
2	表したいことを絵に表す活動を取り上げている題材数	18	15	13	14	13	12
		46			39		
3	表したいことを立体に表す活動を取り上げている題材数	4	4	4	8	8	8
		12			24		
4	表したいことを工作に表す活動を取り上げている題材数	15	13	13	11	10	8
		41			29		
5	作品などを鑑賞する活動を取り上げている題材数	5	2	2	3	2	4
		9			9		
6	暮らしの中の造形や我が国や諸外国の親しみのある表現などに関する学習を取り上げている箇所	16	14	16	5	27	37
		46			69		
7	神奈川県に関する事項 (作品等の紹介に「神奈川県」や地名が表記されている数)	2	2	2	0	2	3
		6			5		

○取り上げられている主な材料や用具の種類

調査研究項目	開隆堂			日文		
	1・2年 上下	3・4年 上下	5・6年 上下	1・2年 上下	3・4年 上下	5・6年 上下
取り上げられている主な材料や用具の種類	土 粘土 木 布 紙類 クレヨン パス ハサミ カッター 絵の具 ペン	土 粘土 木 布 紙類 クレヨン パス ハサミ カッター 絵の具 ペン くぎ のこぎり 金づち	土 粘土 木 布 紙類 クレヨン パス ハサミ カッター 絵の具 ペン くぎ のこぎり 金づち 針金 糸のこ カメラ	土 粘土 木 布 紙類 クレヨン パス ハサミ カッター 絵の具 ペン	土 粘土 木 布 紙類 クレヨン パス ハサミ カッター 絵の具 ペン くぎ のこぎり 金づち カメラ	土 粘土 木 布 紙類 クレヨン パス ハサミ カッター 絵の具 ペン くぎ のこぎり 金づち 針金 糸のこ カメラ

○2社共通に掲載がある作家(作品)

いわさきちひろ、エリック・カール、岡本太郎、俵屋宗達、日比野克彦、堀内紀子、三沢厚彦、パブロ・ピカソ、フィンセント・ファン・ゴッホ

○2社に掲載されている主な作家(共通する作家以外)

開隆堂	日文
荒川じんぺい、石川直樹、大曾根朝美、ヴァシリー・カンディンスキー、瑛九、ジョージア・オキーフ、香月泰男、葛飾北斎、熊谷守一、パウル・クレー、アンディ・ゴールズワージー、坂田源平、マルク・シャガール、しりあがり寿、杉本博司、ディック・ブルーナ、名嘉隆稔、西山大基、M.ババッチ、ニキ・ド・サンファル、吹田文明、フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー、メアリー・ブレア、藤浩志、福田平八郎、アンリ・マティス、棟方志功、ピエト・モンドリアン、山口晃、吉田佳寿、淀川テクニク	西村徳泉、松本竣介、荒川修作、イサム・ノグチ、エドゥアール・マネ、オーギュスト・ロダン、草間彌生、本永定正、クワクポリョウタ、東洲斎写楽、トーチカ、藤城清治、マドリン・ギンズ、ウォルター・ウィック、モーリス・エッシャー、太田拓実、ニキ・ド・サンファール、坂崎千春、鈴木康広、関口尚志、野々村仁清、林明子、福田繁雄、藤森照信、藤田嗣治、ヨハネス・フェルメール、フランソワ・ボンボン、南薫造、三輪壽雪、U.Gサトー、オーギュスト・ルノワール、ヴィクトリア・アンド、古賀春江、佐武絵里子、白髪一雄、ジョルジョ・スーラ、雪舟等楊、関口光太郎、曾我籙白、手塚治虫、鳥羽僧正、蓮見智幸、森口華弘、レオ・レオニ

○作品等の紹介に「神奈川県」や神奈川県内の地名が表記されている箇所

	開隆堂	日文
1・2年 (上下)	岡本太郎(川崎市岡本太郎美術館蔵・神奈川県)、造形さがみ風っ子展(神奈川県相模原市)	
3・4年 (上下)	組木細工のぞう(神奈川県小田原市)、横浜美術館 子どものアトリエ(神奈川県横浜市)	造形さがみ風っ子展(神奈川県)、「立てる像」松本竣介(神奈川県立近代美術館)
5・6年 (上下)	鎌倉彫(神奈川県鎌倉市) 牡丹文香合(鎌倉彫資料館蔵)、インターコンチネンタルホテル(写真)	岡本太郎(神奈川県)、どんぐりプロジェクト(神奈川県)、堀内紀子(箱根彫刻の森美術館・神奈川県)

4 構成・分量・装丁

調査研究項目		開隆堂			日文			
		1・2年 上下	3・4年 上下	5・6年 上下	1・2年 上下	3・4年 上下	5・6年 上下	
1	表現と鑑賞の題材数 (本文中)にしめる割合 (%)	題材数	50	39	36	44	41	36
		表現	90%	95%	94%	93%	95%	89%
		鑑賞	10%	5%	6%	7%	5%	11%
2	1題材に使用したページの割合 (%)	1題材で1ページ以下	41%	23%	10%	5%	2%	0%
		1題材で2ページ以上	59%	77%	90%	95%	98%	100%
3	掲載された主な作家	作家の人数	40			53		
4	27年度版教科用図書	総ページ数	90	90	94	114	114	114
		総題材数	65	54	51	66	68	63
5	23年度版教科用図書	総ページ数	86	86	86	86	86	86
		総題材数	55	48	45	64	63	62
6	23年度版との比較 (%)	総ページ数	5%	5%	9%	33%	33%	33%
		総題材数	18%	13%	13%	3%	8%	2%

5 表記・表現

調査研究項目		開隆堂			日文		
1	巻頭写真のページ数	30			30		
		10	10	10	10	10	10
2	解説のための主な写真、図表、挿絵の数	2075			2441		
		721	704	650	789	939	713